



# 紫雲児の心

3月3日(水)、第74回卒業証書授与式を行い、68名の卒業生が巣立っていきました。昨年度は急遽、卒業生と保護者のみの参加となってしまいましたが、本年度は在校生も参加して実施することができました。本年度の卒業証書番号の最後は、9,987号でした。来年度は、ついに卒業生が一万人を超えることになります。



## 卒業式の式辞から (抜粋)

校長 山田 清

68名の卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

あらためて言うまでもなく、本年度はコロナ、コロナの1年でした。

4月は通常にスタートしたものの、20日から5月下旬まで臨時休校。伝統のチャレンジウォークは中止。

そして何より大きかったのは、全国大会へと続く春の各種大会が中止になったことです。大きな目標を失った3年生の心情を想う時、なんとも切ない気持ちになりました。しかし、3年生は決してくさることはありませんでした。引退までの期間、1、2年生の指導を一生懸命やってくれ、思いを託しました。

9月。短縮プログラムではありましたが体育祭を実施することができました。様々な閉塞感を吹き飛ばすような3年生のパワー、そしてそれに応える1、2年生の姿に感動しました。

10月。無観客で実施した合唱コンクール。やはり3年生と思わせる別格の歌声に心が震えました。

このように通常とは大きく異なる状況の1年間でしたが、皆さんはその逆境に負けず、例年以上の成果を挙げてくれました。さて、1学期の始業式で、二つの「ソウゾウ力」、**imagination** と **creativity** の話をしました。その後、**imagination** の「想像力」については全校朝会でもお話しました。

母校 紫雲寺中学校を巣立つ皆さんに、あらためてこの「想像力」と「たくましさ」の両方を兼ね備えた大人になってほしいということをお願いしたいと思います。

様々な状況で、相手の心情を思いやる想像力は、言い換えると「優しさ」です。

失敗をしたり、自分を否定されたりしても立ち上がり、学び、成長するたくましい姿は「強さ」とも言えます。

「真の優しさは、強さにつながり、  
本当の強さには、優しさが必要だ。」

と言った人がいます。

皆さんには、「優しく、強い人」になってほしいと思います。

この言葉を贈り、これからの社会を生き抜く皆さんに輝かしい未来が待っていることを祈念いたします。

保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。ここに到るまで、各ご家庭では、私達には見えない様々なご苦勞や喜びがあったことと思います。お子様をここまで立派に育て上げられた皆様に敬意を表するとともに、学校に対して温かいご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん、これまで皆さんを応援してくださったご家族や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、また、この地域への誇りをもってこれからの人生を歩んでいってください。

皆さんの一層の活躍を祈念して、式辞といたします。

